

第2次浜田市総合振興計画（案）
浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
に対する意見と浜田市の考え方（団体代表者ヒアリング）

No	ご意見の概要	浜田市の考え方
1	合宿誘致には、公認を受けたスポーツ施設の整備が必要ではないか。陸上競技場やグラウンドゴルフ、ペタンクの施設が望まれる。	陸上競技場については、引き続き4種公認を受けるため、整備をしていきます。グラウンドゴルフについては、現在、今福（市施設）、波佐（民間施設）に公認コースがあります。ペタンクについては、専用コートはない状況ですが、広場を利用したい大会等を実施していただいているところです。今後も、各組織を支援していきたいと考えます。
2	高齢者クラブは減少しており、空白地域の組織化は難しいが、各地でのサロンは増加しており、高齢者会員は居場所を求めている。	市では、サロンコーディネーターを配置し（社協に委託）、サロン活動の推進に努めています。 また、計画の中では、「健康づくりや生きがいづくり活動の推進」としてありますが、これらの活動を通じて居場所の確保が図られるものと考えております。
3	子育てしやすいまちを目指して、市内の幼稚園、保育園、女性の催し、公園などを巡る体験型モニターツアー事業を提案する。	提案いただいた意見については、事業の実施の際に参考にいたします。
4	市民のニーズをどう吸い上げるかが重要である。	今回の計画策定に当たっては、100人委員会や有識者等による審議会、中高生アンケートなど、計画策定の初期段階から多くの市民に関わっていただきました。今後も幅広く市民のご意見を伺いながら、施策を進めてまいります。
5	後継者が戻ってこない。個人経営者が繁盛して仕事場が増えれば、働く場も増える。商店街の振興が必要。	商店街の振興は必要であると考えております。後継者問題、いわゆる事業承継について、事業者の皆様の意見を伺いながら、取り組んでまいります。また、浜田市商業活性化支援事業の小売店等持続化支援事業により開店予定者や事業承継者への支援を行っております。
6	市内で生産したものをうまく加工して都会に売り出すことが、生き残り策の1つである。	生産物をうまく加工する商品開発、都会に売り出す販路開拓、それぞれについて浜田市イノベーション支援事業により支援を継続してまいります。また、はまだ産業振興機構や広島市場開拓室において販路

		開拓支援を行っておりますのでご相談いただきたいと思います。
7	大学生に自立志望の声がある。チャレンジショップなど、学生さんに残っていただける環境づくりが必要。	事業計画の作成や資金計画など起業に際し必要な知識を習得するための起業家セミナーを開催しています。また、浜田市商業活性化支援事業の小売店等持続化支援事業により開店予定者や事業承継者への支援を行ってまいります。
8	商店街にシェアハウスでもあれば、商店街と学生と一緒に活動できる。紺屋町では建物が古く、トイレがないので難しい面はある。	「地域振興部門」の「大学等高等教育機関と連携した地域づくり」(P99)にありますように、商店街にシェアハウスとして活用可能な空き店舗等がありましたら、学生のニーズを踏まえつつ整備してまいります。
9	現在、商工会議所青年部では婚活イベントに力を入れており、今後も開催していく。	商工会議所青年部をはじめとする結婚支援活動を行う団体に対して支援することを、「地域振興部門」の「人がつながる定住環境づくり」(P97)に掲載しています。
10	雇用に対する支援がほしい。法人税の減額や給与の助成等、中小企業のバックアップをお願いしたい。	雇用支援で法人税の減額や給与の助成等を現行制度で行うことは困難と考えますが、市においてはハローワークや浜田・江津雇用推進協議会、商工関係者と連携し、雇用をはじめとする中小企業支援のための連絡会を開催し、ニーズ対応に努めております。
11	大学生が暮らしたいまちを目指すべき。	浜田市では以前より「大学を核としたまちづくり」を重要施策として取り組んでおります。 学生にとって、在学中はもとより、卒業後も暮らしたい魅力あるまちづくりに今後も引き続き努めてまいります。
12	医療体制の充実の根幹である「医療従事者の確保」の目標値がないのはなぜか。	医療従事者の確保については、それぞれ医療機関で努めておられます。 浜田市は、医療従事者の確保が進むように側面的支援を行なっている立場です。浜田市が、主体でないため市全体の目標値を出すことは難しいと考えます。 ②「へき地医療体制の充実」においては、浜田市国保診療所の医師確保の目標値を出しているところです。 計画の修正は、いたしません、ご理解をいただきたいと思います。
13	各部門の最初の目次が必要なのか。部門別施策体系 (P16)で十分では？	部門ごとの施策大綱と主要施策が分かるよう、各部門の最初に一覧を作成してい

		ます。
14	浜田市の生徒の学力低下が言われて久しい。学校教育の充実の中で、「生きる力の育成」というようなあいまいな表現ではなく、「学力の向上」をはっきりうたうべきではないか。	「生きる力」は「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康・体力」のバランスのとれた力と考えています。課題である学力向上には力を入れて取り組んで参りますが、偏りのない育成を目指すために、この表現にしました。なお、「主要施策」の項目には、「基礎学力の定着」ということを表記し、施策の一つの柱としています。
15	簡単に出来ることは、H33 などと言わず、前倒しの期間を定めるべきではないか。	計画の進捗管理を図るため、計画期間の最終年度である H33 年度に統一した目標を設定しています。
16	目次の部門別計画と各部門の説明の表題は同じにすべきではないか。例えば目次では「4 環境部門」で、本文中 (P63) は「IV 自然環境を守り生かすまち (環境部門)」となっている。	統一を図ります。
17	浜田浄苑や火葬場は、5 生活基盤に入れるべきではないか。	浜田浄苑や火葬場は、地域社会に不可欠な社会基盤施設であり、生活基盤部門も考えられます。 しかしながら、公衆衛生施設である同施設は、水質、臭気、大気質対策等について、環境保全への配慮が非常に重要な施設です。そのため、同施設は、環境部門にあって問題ないと考えます。
18	V 生活基盤部門の「道路環境」は違和感がある。「道路網」とか「道路ネットワーク」が良いのではないか。	「道路環境」を「道路網」に修正します。
19	「きれいで安全な水道水の供給」の中で、本文中には耐震化率のことが一言もないのに、目標が「耐震化率の増加」となっており、違和感がある。	この目標は、本文中で優先して取り組むこととしている主要医療機関等への管路更新について掲げたものです。 主な事業・取り組みでも挙げている老朽施設の更新や耐震化のうち、主要医療機関等への管路更新は、耐震管路とすることを計画しており、この表現としました。
20	汚水処理人口だけでなく、公共下水道の整備を目標の項目に加えていただきたい。	汚水処理施設の整備手法としては、公共下水道事業だけでなく農業・漁業集落排水事業や合併浄化槽設置助成事業などもあり、地域に応じた整備を行っていくこととしております。 目標は、公共下水道事業に特化したものでなく、浜田市全体での汚水処理人口普及率の向上を目指す観点から設定したものです。

21	第3章の第1・2・5節が青字になっているが、何か意味があるのか。	文字の色については特に意味はありません。統一します。
22	地方財政法、地方自治法等で効率的な行財政運営を行うことは当たり前のことと思うが、わざわざ総合振興計画に掲げる必要があるのか。別の財政健全化計画で良いのでは。	事業展開の裏付けとなるよう財政計画を掲載しています。なお、掲載している計画は、別計画である中期財政計画から転載したものです。
23	「開かれた」というからには、他の自治体と明らかな違いがなければならないが、内容を見てもほとんど変わらない。	各種計画の公表やパブリックコメント制度の運用を含む広報・公聴活動の充実で「開かれた行財政運営」を目指します。
24	財政計画で33年度までの見込みが載っているが、算出根拠がない。これでは適当な数字と思われても仕方ない。	毎年作成している中期財政計画は、地方交付税や税収の見込みに基づき作成されるもので、十分根拠があるものです。
25	浜田市は水産業が中心であり、明確に打ち出すべき。	現在の計画では「農林水産業」と一括していますが、水産業を独立させたいという冒頭に置き、水産業を重視する意思を明確にしています。
26	商工業の振興の中心である商工会議所が、市との連携が少ないのではないか。	商工会議所の各種部会に浜田市より出席しております。今後とも商工会議所との連携をより深め、産業の振興を図ってまいります。
27	商工業の振興の現状と課題の中で、「公共投資に依存した産業構造」とあるが、建設業以外にも当てはまる言葉か。	国、県の行う公共事業について、主に建設業がそれを担いますが、建設業に必要な資材・サービスを提供する業種も含まれ、そのすそ野は広範に及ぶと考えます。
28	保育所は、市全体の定員は足りているのだろうが、ニーズの高いところの定員を増やすべきではないか。預け易さが女性の就業人口にも影響すると思う。	現在、浜田市の保育所では保育の質を確保した上で、定員を上回る児童の受け入れをしている状況です。市としても保育所の定員増が必要と判断しており、計画案においても目標数値として掲げておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。
29	延長保育などの取り組みはあると思うが、親の仕事も様々なので、迎えの時間を柔軟に対応してほしい。そうした環境が出生率にも影響すると思う。	現在、浜田市の保育所は全て社会福祉法人が運営しており、延長保育時間等も各園により異なっております。また、保育所では保育の質を確保した上で、定員を上回る児童の受け入れをしている状況で、希望する園に入所できない状況もあると認識しております。計画案では、今後、保育所の新增設により定員増を図ることとしており、延長保育時間等も考慮して希望した園に入所できるよう取り組みを進めてまいりますので、ご理解をいただきたいと思っております。
30	都市基盤の整備が掲載されているが、特	歩道整備は、現在「あんしん歩道整備事

	に道路の歩道を整備してほしい。ウォーキングなど、健康づくりにも関わることである。	業」や、「通学路整備事業」等で歩行者の通行量や、主な通学路を随時整備しています。このため、具体的な文章の表記は行いません。
31	下水道の整備が進んでいないことは、建築業界でも重荷になっている。飲食店では合併浄化槽の整備も大きな負担となる。出来るだけ早く整備してほしい。	本文中や主な事業・取り組みにも掲げているように、市街地の公共下水道整備事業の推進に努めていきます。
32	人口増にはU・Iターンが効果的であり、交流人口の拡大が定住にもつながると思う。	交流人口の拡大により経済効果・社会効果が高まり、定住につながると考えています。
33	学生の地元定着が少ない。	就職フェアや企業説明会の開催を通じて、広く地元企業と学生とが会う場を設けております。今後も、さらに多くの学生が地元定着するよう、これらの機会を設けてまいります。
34	起業・後継者づくりについて、やる気のある人はいると思うので、手を貸してやるべき。	起業や事業承継への支援制度である浜田市商業活性化支援事業や浜田市イノベーション支援事業、起業家支援プロジェクト事業についての啓発をしてまいります。